

平成30年度 第1回与板警察署協議会議事概要

開催日時	平成30年6月6日（水）午前10時00分から午前11時40分まで		
開催場所	与板警察署（講堂）		
出席者	委員 (定数5人)	山田(勝)会長 山田(和)副会長 遠藤委員 年友委員 早川委員 (会長・副会長以下50音順)	計5人
	警察	金子署長 大川次長 警務課長 生活安全課長 交通課長	計5人

管内の治安情勢

署長から、平成30年1月から4月末までの管内の治安情勢について資料に基づき説明があった。

前回の答申事項に対する業務推進状況

署長等から、前回答申した重点推進項目の取組状況について説明があった。

1 犯罪抑止対策の推進について

○ 3月5日、12日

特定医療法人楽山会三島病院において、スマートフォン等を利用した特殊詐欺等犯罪被害の実態を収録したDVDを活用し、同病院の職員を対象に特殊詐欺被害防止広報を実施した。



○ 4月13日

寺泊魚の市場通り駐車場において、「新潟県特殊詐欺・悪質商法被害防止の日」の広報を、地元キャラクター「まりんちゃん」及び特殊詐欺被害防止推進員と一緒に、特殊詐欺被害防止や各種犯罪の被害防止広報を実施した。



テレビの視聴者に向けて「まりんちゃん」と共に、特殊詐欺被害防止広報を行った。

○ 5月13日

道の駅良寛の里わしまで開催された「わしま山菜まつり」において、長岡市和島地区民生委員児童委員協議会の会員及び特殊詐欺被害防止推進員と合同で特殊詐欺被害防止などの広報を実施した。(仮装 良寛・貞心尼)



○ 3月12日

北越銀行与板支店において、架空請求詐欺被害を未然に阻止した功勞により、店舗と従業員に対し感謝状を贈呈した。



2 交通事故防止対策の推進について

(1) 高齢者に対する交通安全教育の推進

ア 高齢者講習 (H30. 1月～H30. 4月) 8回 対象179人



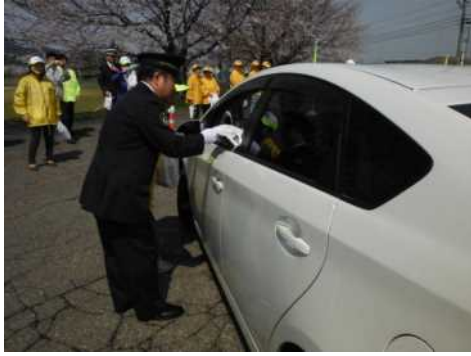
イ 保育園児に対する交通安全教育の推進

チャイルドシート・シートベルト着用月間 (3月) 中、管内の保育園において交通安全教室を開催した。



(2) 春の全国交通安全運動の実施 (4月6日～4月15日)

子供と高齢者の交通事故防止などを運動の重点として、街頭指導所などにおいて交通事故防止啓発活動を実施した。(与板・寺泊地区)



(3) 悪質・危険・迷惑性の高い違反に対する取締りの強化
平成30年1月～4月末の取締り状況についての説明

(4) 赤ランプ活動・街頭指導の強化

当署の対策として

- ・ 日没から夜間における街頭活動、交通指導取締りの強化
ICレコーダーと拡声器を使用した赤ランプ活動、駐留警戒
大型スーパーなど高齢者が立ち寄る施設付近でのミニ検問
- ・ 防災無線などでの広報依頼

などを実施した。

3 住民の相談・要望への誠実な対応について

(1) 感謝事例

ア 特殊詐欺被害防止広報に関する感謝の手紙が寄せられた。

イ 強風により道路上に散乱したガラス片処理に対し感謝の声が寄せられた。

(2) 人身安全関連事案解決事例（DV事案）

口頭注意を実施し解決した。

その他の業務推進状況

平成30年中に与板警察署に届けられた拾得物は91件で、そのうちの約27.5%に当たる25件が寺泊交番への届け出であった。また、遺失者への返還については、約半数(48%)の44件であった。

警察では

落とし物をしたときは最寄りの警察署又は交番・駐在所に「遺失届」を出しておくこと(電話で受け付け可能)

- ・ 落としやすい物には、万一に備え記名をすること
- ・ 県警のホームページでも落とし物検索ができること

等を広報している。

諮問

署長から、当面の重点推進事項について次のとおり諮問があった。

1 特殊詐欺被害防止対策の推進について

- (1) 被害防止広報の推進
- (2) 検挙活動の推進

2 交通事故防止対策の推進について

- (1) 高齢者と子供に対する交通安全教育の推進
- (2) 悪質・危険・迷惑性の高い違反に対する取締りの強化
- (3) 季別交通安全運動の実施

3 住民の相談・要望への誠実な対応について

- (1) 相談・要望への適切な対応
- (2) ストーカー、DV等人身安全関連事案の迅速な対応

諮問に対する意見・質疑等

1 管内に特殊詐欺被害防止推進員がいるとのことだが何人いるのか。

- 管内には各地区に1人ずつ計5人の推進員がおり、警察が行う特殊詐欺被害防止広報活動の際には、協働して被害防止広報を行うなどの活動を行い、特殊詐欺被害防止を行っております。



2 特殊詐欺被害の防止策として地域課員が作成した「騙されないで！そのハガキ」という被害防止チラシをいただき道の駅に掲示し、道の駅を訪ねてくる人達に注意喚起しているが、このような防止チラシは大変有効である。今後も創意工夫した被害防止広報を行って欲しい。

- 委員仰せのチラシは、昨年末から管内に送付されている架空請求詐欺ハガキに対する注意を促し、被害を防止するために地域課で作成配付したものです。今後も被害防止のためにあらゆる取り組みに努めます。

3 県下で初めて、あおり運転を検挙したとのことだが、あおり運転とはどのような運転を言うのか。ドライブレコーダーなどの映像がないと検挙できないのか。

- あおり運転自体に特定の決まりはなく、異常に接近した運転、車間距離義務違反、急激な進路変更、進路変更禁止違反、急ブレーキ禁止違反など道路上で重大事故につながる危険行為といわれる運転のことです。

これらを精査し違反として捉えることができれば違反として検挙しますが、取締りの基本は警察官の現認です。当署管内で検挙したあおり運転の場合は、ドライブレコーダーの映像はなく、明確な違反として捉えられなかったのですが、その後の運転に絡むトラブルを捉えて各課の協力を得て捜査を実施し行政処分を行っております。

4 近所の高齢者は運転に自信がなくなり車を手放したが、日々の生活が成り行かなくなり、また車を購入した方がいる。隣近所に頼めば済むことだが、高齢世代の方

は人に物事を頼むのに罪悪感を感じているという面もある。免許証を返納し車を手放すことで生じる生活環境の変化も、高齢者が免許証返納になかなか応じられない要因の一つになっている。

5 現在、高齢者の免許証の自主返納が行われており、私も、その時が来たら免許証を返納するつもりだが、正直なところ、家の近くにスーパーはなく、買い物を含めあらゆる生活場面で、免許証を返納すると支障がでる。免許証返納後の高齢者の生活は、警察よりも行政の問題と思うし結果もすぐに出ないと思うが、高齢者の交通事故を防ぐためにも、行政への働きかけや行政とタイアップした息の長い取り組みをお願いしたい。

○ 当署管内は、車を所有していないと不便な地域もあります。委員の仰せのとおり、高齢者事故防止の推進と合わせて、行政への働きかけを今後も続けてまいります。

6 新潟西署で悲惨な事件が発生し、子供の見守り活動がとても重要と感じている。朝の登校時の見守りはよく行われているが、下校時における見守り活動は地区によって取り組みが異なる。管内で悲惨な事故や事件を防止するために更に力をいれてほしい。

○ 現在、朝夕の街頭監視に合わせて、子供の見守り活動も行っております。一人でも多くの警察官が街頭に出て制服を見せたり、赤ランプを点灯させたパトカーを出動させ、駐留警戒を実施するなどして発生予防に努めてまいります。

7 出雲崎にある駐在所が古くなり、一つに統合して新しい駐在所を作ることだが、今後の治安維持のための活動はどうなるのか。

○ 駐在所は一つになりますが、警察官の人員に変更はなく2人体制になります。更に、パトカーも配置し機動力を持たせ、今後の治安維持にしっかりあたります。

駐在所は地域住民の安心のより所なのでしっかりやってほしい。

○ 分かりました。

答申

与板警察署協議会として協議、検討した結果、諮問のとおり推進するよう答申した。

速度取締指針の策定

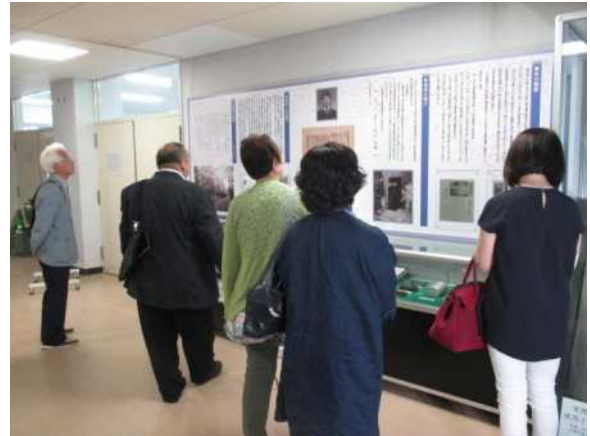
署長及び交通課長から、交通事故発生実態に合わせた速度等取締を実施する旨の説明があり、了承した。

県本部交通規制課交通管制センター及び警察学校などへの視察状況

議事終了後、警察本部交通規制課管制センター及び警察学校への視察を実施した。



交通管制センター視察状況



警察学校（故中村警部補遺品視察）



学校長へ表敬訪問



逮捕術授業の視察状況



授業（職務質問、声かけ訓練）の視察状況